

▶ 掲げた公約を実行することは、当選した政治家としての責任です。

今村市長は前回の市長選挙で、市長に就任してから進める政策を公約に掲げ当選しました。その公約の中には、今回私が一般質問で取り上げた「技能労務職が従事する業務の民間移管・民営化推進」や「公立幼稚園の民間移管」などが記されています。しかし公約に書かれた取り組みは進められていなければなく、自身のブログではこの公約に対して軽視的な発言を行っています。こうした発言は公約を掲げて当選した政治家として問題であり、極めて遺憾です。市長が公約の実現に向けて取り組むよう、今後も厳しく対峙して参ります。

<資料>市長選挙時の公約(マニフェスト)に記載された内容

高額な西宮市技能労務職の平均月額給与		
廃棄物処理業従業員	483,781円	平均年齢44.3歳 西宮市
調理士	290,600円	44.6歳 民間
用務員	411,784円	45.1歳 西宮市
	259,200円	41.4歳 民間
	469,959円	49.1歳 西宮市
	209,700円	53.8歳 民間
自動車運転手	560,854円	50.3歳 西宮市
	294,000円	57.1歳 民間

市職員は平成24年度「給与実態調査データ」民間は厚労省「賃金構造基本統計調査」平成20~22年の平均

【技能労務職の給与適正化、採用中止】●西宮市職員、特に公用車運転手・清掃職員・学校用務員・電話交換手・給食調理員などの技能労務職の給与は、民間同職種の倍近く、国と比較しても1.38倍にもなり、全国屈指の高水準です。地方公務員法第24条の3には「職員の給与は、生計費並びに国及び他の地方公共団体の職員並びに民間事業者の従事者その他の事情を考慮して定めなければならない」とあります。西宮市職員の給与水準は、もはや法律上問題のあるレベルなのです。●そもそも、民間が低成本で高品質なサービスを提供できるこれらの業務の従事者を、役所が直接雇用する必要はありません。【子供の多い地区の公立幼稚園の認定こども園化】●児童1人あたり約8倍もの市費を投入しながら公共的役割も担いきれない公立幼稚園に関して、子供の多い地区の園は民間移管で認定こども園にし、幼稚園ニーズに応えつつ保育所待機児童解消に役立てます。

▶ 28年度予算案は条例の否決、修正案の賛成可決など異例の事態

平成28年度の予算規模は、総額で前年度から約45億円(1.4%)増の3,155億7,847万6千円となりました。阪神・淡路大震災直後の平成7年度に次いで過去2番目の規模です。

■ 育成センターの開所時間が早くなります!

市は2016年より育成センター4施設の開所時間を午前8時に改め、2017年度以降もできるだけ早期に全施設の開所時間を改めるという方針を示しました。しかし、この案には「開始時間を早めた延長分として利用者から1,000円を越えない範囲で徴収を行う」とあったことから、延長保育としての徴収は行わずに開所時間を早めるべきとの考えにより、条例改正案は全会一致で否決、徴収は行わないことが決定しました。条例改正案が全会一致で否決されたのは西宮市では27年振りの出来事です。引き続き育成センターなど子育て環境の充実に取り組んで参ります。

はまぐちコラム

にしのみや歴史散歩②「昭和初期に西宮市を襲った大水害」

昭和13年7月に阪神地区は記録的な豪雨に襲われ、神戸市や西宮市を中心に河川の氾濫による大規模な土砂災害が発生しました。阪神大水害と呼ばれたこの自然災害により多くの尊い命が奪われました。谷崎潤一郎の「細雪」にも当時の状況が描かれています。

この時、西宮市では7月4日午前10時から5日午前10時にかけて降雨量が293mmという記録的な豪雨となり、六甲山では総雨量が600mmを超えたと記録されています。気象庁のデータによれば兵庫県では2015年7月に1日の総雨量270mmを記録しています。鷺林寺や柏堂町・苦楽園など、土砂災害の危険性が高い地域では早めの避難が被害を最小限に食い止める手段となります。余裕のある避難行動を心掛けましょう。



苦楽園方面の昭和13年7月の水害の様子



苦楽園で生まれ育った2児の父親。皆さんの目線で街の声を市政に届けます。



<プロフィール>1972年6月西宮生まれ。既婚2児の父。市立大社幼稚園、市立苦楽園小学校、市立苦楽園中学校、兵庫県立西宮甲山高等学校卒業。神戸ベイシェラトンのオープニングスタッフ等を経て1998年に松原町にて「Cafe&Barsavro(三郎)」、2000年に西宮浜にて「Trattoria & Cafe COMODO」をオープン。2014年西宮市長選挙でスタッフとして活動後、政治家私設秘書に就任。2014年9月末で秘書業務とすべての店舗を撤退して政治活動を開始。2015年4月に行われた西宮市議会議員選挙にて1983名からの信託を頂き初当選。

TEL:090-8167-8136 Mail:h.hamaguchi0602@gmail.com
<http://goo.gl/pEHp1> <http://h-hamaguchi.com/>

はまぐち仁士

検索



★はまぐち仁士とお話しませんか?カフェミーティングのお知らせ★

カフェミーティングは地域の声をお聞きするのが目的です。今回は一般質問で取り上げた子育て環境について幅広い内容で雑談形式でお伺いします。お子様と一緒に参加も大歓迎です!お手数ではありますが、参加をご希望の方はMailにてお申し込みをお願いします!

◆第2回:5月11日(水) ◆第3回:6月9日(木) 時間:午後2時から4時 場所:夙川トリニティ(阪急夙川駅徒歩1分)

参加費:お1人様1,000円(お茶とケーキ代) *お子様は料金不要です。

*お申し込みは[こちらから](mailto:h.hamaguchi0602@gmail.com)→h.hamaguchi0602@gmail.comまたは[はまぐち仁士公式HP](http://h-hamaguchi.com/)のお問い合わせフォームよりお願いします。

★一緒に公園を綺麗にしませんか?定期清掃活動のお知らせ★

公園清掃と一緒にしませんか?下記の日程で公園清掃を行います。清掃を行いながら公園のあり方などをお話ししたいと考えています。

◆4月23日(土)松谷公園 ◆5月14日(土)深谷公園 ◆5月29日(日)樋之池公園 (午前10時から30分程度・雨天中止)

【表紙デザイン】<作品のタイトル>『はるかぜ』 <作家名>生駒さちこ(いこまさちこ)

<プロフィール>2015年1月に神戸市から西宮市に転居。イラストレーターとして雑誌、広告、本の装丁、挿画などで活躍中。 <公式ホームページ><http://coconatz.com/>

*表紙デザインは西宮市の文化振興を目的に、西宮ゆかりのアーティストが絵を描いています。

発行者:西宮市議会議員 はまぐち仁士

▶夙川地区の子育て環境の改善に取り組んでまいります！

夙川地区の子育て環境は 重要な施設が不足しています!!

西宮市における平成27年4月時点の保育所待機児童数は469名ですが、このうち夙川地区が100名を占めており市内でも突出して多い状況です。夙川地区では

- 保育所施設や幼稚園の選択肢が不足している
- 児童館が存在せず子育て広場も少ない

など課題があります。そこで今回は子育て環境改善のため的一般質問を議会にて行いました。

送迎保育ステーション事業の導入を！！

保育所施設は働く保護者の勤務環境を考えれば駅前にあることが望ましいとされています。しかし駅前では保育所を整備する為の有効な土地や物件が少ないとため整備が進みません。一方で駅から離れた場所では保護者の送迎負担が大きく保育所の整備は有効ではありません。

千葉県流山市では保育所を利用する保護者の送迎負担の軽減や保育所定数の均衡を図ることを目的に保護者が駅にある施設に子どもを預けるだけで、専属保育士が乗ったバスで各保育所まで送迎する送迎保育ステーション事業を行っています。西宮市でも全市的に見れば保育所定数が均衡していないことから、「本市でも流山市で行われている送迎保育ステーション事業の導入を検討すべきだ」という質問をいたしました。それに対して、市から「送迎保育ステーション事業の導入が保育施策として有効となりうる可能性があります。今後保護者の状況やニーズを分析しながら導入の可否等について研究してまいります。」とのご答弁を頂きました。

保育士の雇用問題の解決を！！

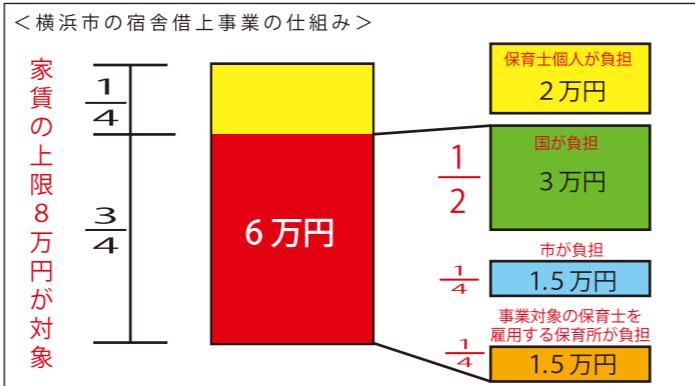
西宮市は今後5年間、毎年約180名程度の保育需要が増加すると予想しています。この需要の増加に対応するためには保育士を採用しなければなりませんが、現在保育士不足が深刻化しています。市は新年度における保育士確保に向けた支援策として「保育士就職フェア」の拡充実施や保育士資格の取得支援などを予定しています

【保育士の改善希望アンケート結果の上位】

- 1位 給与・賞与等の改善
- 2位 職員数の増員
- 3位 事務・雑務の軽減

*参考資料:東京都保育士実態調査報告書

が、保育士の改善希望アンケートでは「給与や賞与」「職員数の増員」「事務・雑務の軽減」が上位となっていることから、こうした問題を解決することが重要です。豊中市や横浜市などの自治体では期間を限定した宿舎借上事業を行っています。下図の通り、国や自治体等の負担により、保育士に対して5年間の家賃補助を行うことから、短期的ですが実質的な給与改善となります。市は導入に対して慎重ですが、効果的な雇用対策を引き続き提案して参ります。



公立幼稚園が認定こども園へと民間移管することが待機児童解消の有効な対策となります！

市が実施できる待機児童対策に公立幼稚園を認定こども園へと民間移管する方法があります。認定こども園とは、保育と幼稚園両方の役割を持つ新たな施設です。

西宮市では現在3歳児童の受け入れが困難となる問題が存在しています。小規模保育施設の受け入れは2歳までとなっており、こうした児童が3歳になると新たな受け入れ先を探さなければならぬことがあります。公立幼稚園は3歳児の受け入れを行っていませんが、認定こども園化することで幼稚園に預けたい保護者と保育所に預けたい保護者両方が利用可能となるため、3歳児問題を緩和するだけでなく、幼稚園の選択肢不足の解消にも期待が持てます。

今後保育ニーズが増加する一方で幼稚園児童数が減少することを考慮すれば、最も適切な対応であると考えます。公立幼稚園を認定こども園へと民間移管する提案に対して考え、現時点では考えていないと市は回答しています。働く保護者にとって保育所の確保は重要であり、市は夙川地区の待機児童問題に対して早急な対策を行なうべきです。今後も夙川地区の子育て環境について全力で取り組んで参ります。

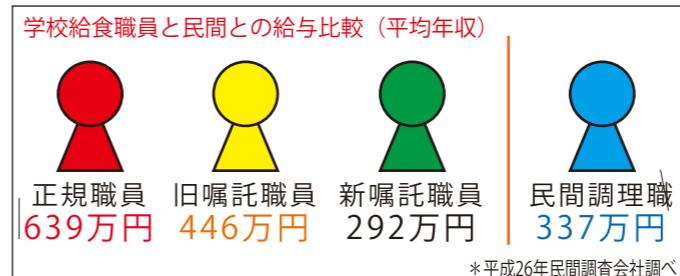
▶子どもの食環境は教育として重要であり改善が必要です！

小中学校全てに栄養士を配置すべきです！

市内の学校で栄養士が配置されているのは61校中45名で全体の73%となっており、栄養士がない学校もあることから、食育やアレルギー対応などで格差が生じています。近隣市では尼崎市が43校中38名で全体の約88%、芦屋市では小・中学校9校全てに栄養士が配置されており、こうした自治体では市独自の予算で栄養士の配置を行っています。西宮市でも独自の予算で栄養士の配置を進めるべきだという質問に対して、市は「栄養教諭の役割は極めて重要と考えており、平成28年度中に栄養士などの配置について整理してまいります。」との答弁を頂きました。

学校給食の正規職員は 高額な給与が問題視されています！

西宮市の学校給食は市の直営によって運営されており、正規の調理職員や嘱託職員など、いわゆる技能労務職と呼ばれる職員が給食の現場に配置されています。西宮市の学校給食で働く各職員の給与平均は、正規職員で約639万円、旧嘱託職員で446万円、新嘱託職員で292万円となっています。民間で働く調理人の平均年収は約337万円であることから、正規職員や旧嘱託職員の年収が高額であることがお分かり頂けると思います。今村市長も議員時代に技能労務職の高額な給与の実態を問題視しており、



▶夙川駅南にあるバイク駐輪場内の歩道が改善されました！

前回の報告紙でも書かせていただきましたが、市民の方からご指摘のあった歩道が私の働きかけによって改善されました。この歩道を利用される多くの方が喜んでいただければ嬉しく思います。全てを解決できる訳ではありませんが、まずはご相談ください。できる範囲の改善が行えるよう努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

